

講義名	英語 B (上級)			授業形態	
担当教員	Adrian Williamson	開講期・曜日・時限		後期 金曜日 3 時限	
		単位数	2	履修開始年次	1 年生
主題と概要					
今まで学修した内容を継続的に実践演習を通して定着・発展させる。授業では、毎回その日に習得するフレーズを確認、反復練習を行い、実践演習を行うことにより、学んだ表現を自然と話せるように指導する。日常的な状況だけでなく一般的な話題や、プレゼンテーションの基礎等、より複雑な状況での英語コミュニケーション能力の向上を目指す。					
到達目標					
・日常会話に必要な基本的な語彙と文法の習得 ・様々な状況での英会話力 ・実際の日常生活で、英会話をする際の自信を身に付ける					
提出課題					
授業内でアナウンスします。					
課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法					
授業内で講評・解説などを行います。					
評価の基準					
出席状況、授業中の活動状況、課題など平常点を60%、セメスタ・末の最終試験（定期試験）を40%として総合的評価を行います。					
履修にあたっての注意・助言他					
教科書は必ず購入の上、授業に参加するようにしてください。教科書を授業に持参しなかった場合、毎回減点対象になります。 英語の習得には、継続的な努力・学習が必要です。毎日の学習習慣を身に付けることが重要です。また、授業の出席も非常に大事ですので、遅刻・欠席が無いように努めてください。 このコースでは、学生の積極的な授業参加が求められます。講師や学生と授業に對話訓練としてのアクティビティを行い、学んだ英語を身に付けます。授業は英語のみで行い、日本語の発言は禁止です。授業中の積極的な参加態度を成績として評価しますので、練習の際の発言する努力とできる限りの積極的な参加が重要です。授業中は、クラス全員が一括に学んでいます。お互いに理解するのを助け合いましょう。一人で学ぶよりは、みんなで一緒に学ぶ方が、学習効果が促進されます。					
教科書					
Berlitz English for University Students book 1, 4th edition. Ver.3.			Berlitz Japan., Inc.	2795	
参考図書					
なし。					

その他		
・教科書の価格が変更となる可能性があります。 ・プリント資料及び参考文献は必要に応じて授業中に指示します。		
授業計画		
1. Unit 16: 家族について話す 予習：不明な語彙を調べる。(90分) 復習：課題、授業内容のまとめ、不明な語彙や文法は調べ、発音練習。(150分) 2. Unit 17: 人を描写する 予習：不明な語彙を調べる。(90分) 復習：課題、授業内容のまとめ、不明な語彙や文法は調べ、発音練習。(150分) 3. Unit 18: クラブ活動等を説明する 予習：不明な語彙を調べる。(90分) 復習：課題、授業内容のまとめ、不明な語彙や文法は調べ、発音練習。(150分) 4. Unit 19: 過去の活動について話す 予習：不明な語彙を調べる。(90分) 復習：課題、授業内容のまとめ、不明な語彙や文法は調べ、発音練習。(150分) 5. Unit 20: 外出の予定を立てる 予習：不明な語彙を調べる。(90分) 復習：課題、授業内容のまとめ、不明な語彙や文法は調べ、発音練習。(150分) 6. Unit 21: パーティを計画する 予習：不明な語彙を調べる。(90分) 復習：課題、授業内容のまとめ、不明な語彙や文法は調べ、発音練習。(150分) 7. Unit 22: レビュー 予習：これまでの学修内容を復習し、理解を深める。(90分) 復習：課題、授業内容のまとめ、不明な語彙や文法は調べ、発音練習。(150分) 8. Unit 23: 健康について話す 予習：不明な語彙を調べる。(90分) 復習：課題、授業内容のまとめ、不明な語彙や文法は調べ、発音練習。(150分) 9. Unit 24: アドバイスを求める/する 予習：不明な語彙を調べる。(90分) 復習：課題、授業内容のまとめ、不明な語彙や文法は調べ、発音練習。(150分) 10. Unit 25: プレゼンテーション(準備) 予習：不明な語彙を調べる。(90分) 復習：課題、授業内容のまとめ、不明な語彙や文法は調べ、発音練習。(150分) 11. Unit 26: プレゼンテーション(導入) 予習：不明な語彙を調べる。(90分) 復習：課題、授業内容のまとめ、不明な語彙や文法は調べ、発音練習。(150分) 12. Unit 27: プレゼンテーション(本論) 予習：不明な語彙を調べる。(90分) 復習：課題、授業内容のまとめ、不明な語彙や文法は調べ、発音練習。(150分) 13. Unit 28: プレゼンテーション(結論) 予習：不明な語彙を調べる。(90分) 復習：課題、授業内容のまとめ、不明な語彙や文法は調べ、発音練習。(150分) 14. Unit 29: レビュー 予習：これまでの学修内容を復習し、理解を深める。(90分) 復習：課題、授業内容のまとめ、不明な語彙や文法は調べ、発音練習。(150分) 15. Unit 30: 問題演習 復習：課題、授業内容のまとめ、不明な語彙や文法は調べ、発音練習。定期試験に向けて、全ユニットの復習を行う。(240分)		
授業形態（アクティブ・ラーニング）		
	ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
	ウ：ディスカッション、ディベート	○ エ：グループワーク
○	オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
	キ：その他（A/L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連		
学修した内容を継続的な実践演習を通して定着・発展させる。実践演習を行うことにより、学んだ表現を自然と話せる力を身につけ、より複雑な状況での英語コミュニケーション能力を向上させる。これにより、卒業時に身につけておくべき資質・能力の育成につなげる。これらの能力は、商学部生に求められる各業界の動向や問題点を理解するための基礎知識、経済学部生に求められる社会の諸問題を幅広い観点から考察、分析する力、人間社会学部生に求められるコミュニケーション能力の修得に役立つ。		
双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述		
実務経験の有無及び活用		
備考		